

北海道開発局事業審議委員会（令和 7 年度第 3 回） 審議案件一覧【再評価】《道路事業》

事業名	再評価理由	上段：前回再評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)		進捗率 ※1	事業の効果等	全体事業			残事業			地方公共団体等の意見	対応方針(案)	備 考
				事業化 年度	完了予定 年度	一体評価	単体評価			費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益	費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益			
再～1 帯広・広尾自動車道 (一般国道236号) 大樹広尾道路（忠類大樹～豊似）	再評価実施後 一定期間（5 年）が経過し ている事業	前回 (R 2)	大樹広尾道路（忠類大樹～豊似） は、高速ネットワークの拡充による 近隣都市間の連絡機能の強化を図 り、災害時の信頼性の高い道路ネッ トワークの構築及び重要港湾十勝港 の利便性向上等の支援を目的とした 事業	H28	R8	200	200	11%	重要港湾十勝港の利便性向上 道路交通の安全性向上 救急搬送・地域医療の安定性向上 宅配サービスの効率化・日常生活の利便性向上 観光地への移動利便性向上	一体：1.1 単体：0.9	386	420	一体：1.2 単体：1.1	354	420	「帯広・広尾自動車道（一般国道236号）大樹広尾道路（忠類大樹～豊似）」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。当該事業は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、災害時の信頼性の高い道路ネットワークの構築及び重要港湾十勝港の利便性向上等に寄与することから、早期供用をお願いいたします。なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト削減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
										-			-					
										-			-					
再～2 帯広・広尾自動車道 (一般国道236号) 大樹広尾道路（豊似～広尾）	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	今回 (R 7)	大樹広尾道路（豊似～広尾）は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、災害時の信頼性の高い道路ネットワークの構築及び重要港湾十勝港の利便性向上等の支援を目的とした事業	R4	R13	1,749	480	0%	現道課題箇所を回避し、災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成 重要港湾十勝港とのアクセス向上により全国の食を支える地域産業を支援 高次医療施設へのアクセス向上により、救命救急医療活動を支援	一体：1.2 単体：0.7	2,641	3,200	-	-	-	「帯広・広尾自動車道（一般国道236号）大樹広尾道路（豊似～広尾）」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。当該事業は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、災害時の信頼性の高い道路ネットワークの構築及び重要港湾十勝港の利便性向上等に寄与することから、早期供用をお願いいたします。なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト削減を図り、効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	
										-			-					
										-			-					
再～3 旭川・紋別自動車道 (一般国道450号) 遠軽上湧別道路	事業採択後5 年間の経過した時点で継続中の事業	今回 (R 7)	遠軽上湧別道路は、高速ネットワークの拡充による道央圏・道北圏とオホーツク圏の連絡機能強化を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等の支援を目的とした延長1.3・8kmの事業。	R3	R13	300	300	0%	高次医療機関への救急搬送時における速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援 現道の課題箇所を回避し、洪水浸水や暴風雪などの災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築 旭川・紋別自動車道が延伸することで、輸送時の物流効率化や観光時の周遊性向上を支援	一体：1.1 単体：1.1	235	260	-	-	-	「旭川・紋別自動車道（一般国道450号）遠軽上湧別道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。当該事業は、農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、オホーツク地域の周遊観光等の振興、安全で確実な交通の確保、救急搬送時間の短縮などに寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、徹底したコスト削減を図り、効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業継続	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
										-			-					
										-			-					
			同上	R3	R13	4,051	375	11%	水産品の流通利便性向上 農産品物流ルートの安全性・速達性向上 周遊観光の活性化 救急搬送の速達性・安定性向上 異常気象時の確実性・信頼性向上	一体：1.1 単体：1.5	10,111	11,417	一体：1.8 単体：1.8	281	502			
										一体：(1.4) 単体：(2.2)			一体：(2.6) 単体：(2.6)					
										一体：[1.5] 単体：[2.7]			一体：[3.1] 単体：[3.1]					

再～4	旭川十勝道路 （一般国道237号） 富良野北道路	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 （R 3）	富良野北道路は、高速ネットワークの拡充による上川圏と十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流の効率化等の支援をするとともに、富良野市街における交通渋滞、交通事故の低減を図り、道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長5.7kmの事業。	H20	R8	－	251	79%	主要な観光地への利便性向上 交通渋滞の緩和 道路交通の安全性向上 農産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の安定性向上	1.01	276	280	2.6	106	280	『旭川十勝道路（一般国道237号）富良野北道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、高速ネットワークの拡充による上川圏と十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流の効率化等を支援するとともに、富良野市街における交通渋滞、交通事故の低減が期待されるなど経済・社会活動の活性化や住民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、平成11年10月7日付け環設第550号「地域高規格道路旭川十勝道路（中富良野町～富良野市間）に係る環境影響評価準備書について」の知事意見を遵守するとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業 継続	重点審議 （c）推定事業費が顕著に増加する事業 （d）事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 （R 7）	同上	H20	R11	1,110	286	75%	交通渋滞の緩和 主要な観光地への利便性向上 道路交通の安全性向上 農産品の流通利便性向上 災害時の緊急輸送ルートの強化 救急搬送の速達性・安定性向上	一体：1.3 単体：0.9	2,128	2,867	一体：3.3 単体：4.6	116	383			
			一体：（1.6） 単体：（1.4）	一体：（4.1） 単体：（6.0）															
			一体：[1.9] 単体：[1.7]	一体：[4.5] 単体：[6.9]															
再～5	道央圏連絡道路 （一般国道337号） 長沼南候道路	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 （R 5）	長沼南候道路は、中樹林道路、泉郷道路と接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び拠点空港新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港等への物流効率化等の支援を目的とした長沼町東10線から南幌町西15線に至る延長14.6kmの事業。	H23	R10	－	380	41%	物流拠点の利便性向上 農産品の流通利便性向上 拠点空港新千歳空港への利便性向上 道路交通の安全性向上 異常気象時や冬期間の安全性向上 企業立地の促進	1.5	428	642	2.7	237	642	「道央圏連絡道路（一般国道337号）長沼南候道路」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、中樹林道路、泉郷道路と接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び拠点空港新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港等への物流効率化等を支援するとともに、道路交通の安全性向上や企業立地の促進が期待されるなど、経済・社会活動の活性化や住民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、平成21年1月地域高規格道路道央圏連絡道路（長沼町～江別市間）に係る環境影響評価書に記載の「準備書についての知事意見及びそれに対する事業者の見解」を遵守するとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業 継続	重点審議 （c）推定事業費が顕著に増加する事業 （d）事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 （R 7）	同上	H23	R16	－	554	50%	物流拠点の利便性向上 農産品の流通利便性向上 拠点空港新千歳空港への利便性向上 道路交通の安全性向上 異常気象時や冬期間の安全性向上 企業立地の促進	1.1	579	630	2.6	240	630			
			（1.7）	（3.7）															
			[2.2]	[4.3]															
再～6	一般国道12号 峰延道路	社会情勢等の 急激な変化等 により再評価 の実施の必要 が生じた事業	前回 （R 3）	峰延道路は、札幌～滝川間における唯一の2車線区間で、岩見沢～美瑛間の交通渋滞緩和及び交通事故減少による、走行の定時性及び安全性の向上を目的とした延長6.3kmの4車線拡幅事業。	H19	R8	－	164	60%	交通渋滞の緩和 冬期異常気象時の走行性確保 道路交通の安全性向上 救急搬送の安定性向上 日常生活の利便性向上	1.04	194	202	3.0	54	162	『一般国道12号 峰延道路』事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、現道の4車線化による市街地の周辺における交通渋滞及び交通事故の低減が図られ、道路交通の定時性や安全性の向上が期待されるなど、経済・社会活動の活性化や住民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとめるとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。	事業 継続	重点審議 （c）推定事業費が顕著に増加する事業 （d）事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 （R 7）	同上	H19	R14	－	226	62%	交通渋滞の緩和 冬期異常気象時の走行性確保 道路交通の安全性向上 救急搬送の安定性向上 日常生活の利便性向上 農産品の流通利便性向上	0.8	279	229	2.4	68	163			
			（1.1）	（3.3）															
			[1.4]	[4.0]															

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費（単体評価）に対する進捗率を示す
 ※2 1段目 社会的割引率を4%に設定して算定したB/C
 (2段目) " を2%に設定して算定したB/Cの参考値
 (3段目) " を1%に設定して算定したB/Cの参考値

重点審議案件

重点審議案件の選定要件

- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
- (b) 推定便益が顕著に減少する事業
- (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
- (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
- (e) その他の要因